

## 修正箇所（赤字が修正部分）

市嶋 典子

### 対象論文

市嶋典子 (2013). 日本語教育における評価研究の変遷と課題——制度が規定する評価から、実践を起点とした評価, 思想としての評価へ『言語文化教育研究』11, 112-133.  
<http://gbkk.jp/vol11.html#ichishima>

1

表 1：日本語教育における評価研究の全体的な傾向

分類	年代	1964-1977年	1985-1987年	1994-1997年	2000-2010年	計
①	「実態把握」的評価	0	0	1	8	9
②	「目標到達性」把握的評価	0	1	1	6	8
③	「測定」的「査定」的評価	8	14	4	4	30
	その他 (②③) <sup>1</sup>	0	0	0	2	2

2

表 2：日本語教育における評価に関する論文

番号	掲載号	年	著者名	タイトル	分類
1	4・5	1964	興水実	言語テストの種類と作り方	③
2	4・5	1964	編集委員会	実例からみた日本語の試験問題—出題意図と形式による分類—	③
3	32	1977	武井一美	私費留学生統一試験について	③
4	32	1977	吉川武時	国費留学生現地採用試験（日本語）について	③
5	32	1977	植松清	テストを「テスト」する	③
6	32	1977	高見沢孟	米国国務省日本語研修所の場合	③
7	32	1977	石垣貴千代	初級日本語の文型テストについて—書き試験—	③
8	32	1977	H.C.カッケンブッシュ	南オーストラリア州における日本語の大学入学資格試験について	③
9	55	1985	古川ちかし	アメリカにおける英語標準テスト—TOEFLを中心に—	③
10	55	1985	三枝令子	Goethe-Institutの統一試験の構成と評価法	③

<sup>1</sup> 表中のその他 (②③) は、②「目標到達性」把握の評価、③「実態把握」の評価についてどちらも言及されていたものを意味する。

11	58	1986	林大	日本語能力の評価について	③
12	58	1986	大坪一夫	「外国人のための日本語能力試験試行試験」について	③
13	58	1986	山田正春	第1回日本語能力試験の実施について	③
14	58	1986	調査普及課	日本語能力試験について	③
15	58	1986	植松清 吉中由紀子	「日本語能力試験」を受験者の側から見る	③
16	58	1986	和栗雅子	「日本語能力試験」を受けさせる側として	③
17	58	1986	仁科喜久子 中山史恵 川島至	「結果を参考にする側から見た日本語能力試験（統一試験・日本語）」	③
18	58	1986	上野田鶴子 古川ちかし 田中望	外国語としての言語能力試験の紹介	③
19	58	1986	清地恵美子 西口光一 松本隆	発話能力テストの現状と問題点	③
20	58	1986	小宮さなえ 久野寛之 村岡英裕 柳沢好昭	外国語習得適正テストーその日本語教育への応用ー	③
21	58	1986	石田敏子	英語・中国語・韓国語圏別日本語学力の分析	③
22	61	1987	牧野成一	ACTFL 言語能力基準とアメリカにおける日本語教育	②
23	63	1987	菊池康人	作文の評価方法についての一試案	③
24	83	1994	中島和子 桶谷仁美 鈴木美和子	年少者のための会話力テスト開発	③
25	85	1995	フォード丹 羽順子 小林典子 山本啓史	「日本語能力簡易試験（SPOT）」は何を測定しているかー音声テープ要因の解析ー	③
26	88	1996	横溝紳一郎	オーラル・プロチーブメント・インタビューープロフィシエンシーとアチーブメント統合の試みー	②
27	88	1996	小山悟	自律学習促進の一助としての自己評価	①
28	94	1997	大坪一夫	評価法	③
29	94	1997	図と表で見る〈海外の日本語教育〉	ETS テスト開発について 講義要旨	③
30	104	2000	許夏珮	自然発話における日本語学習者による「テイル」の習得研究ーOPI データの分析結果からー	②
31	107	2000	横溝紳一郎	ポートフォリオ評価と日本語教育	①
32	111	2001	スニーラット・ニンジャ ヤロンスク	OPI データにおける「条件表現」の習得研究ー中国語、韓国語、英語母語話者の自然発話からー	②
33	113	2002	横山紀子 木田真理 久保田美子	日本語能力試験と OPI による運用力分析ー言語知識と運用能力との関係を探るー	②
34	114	2002	岩崎典子	日本語能力簡易試験（SPOT）の得点と ACTFL 口頭能力測定（OPI）のレベルの関係について	②
35	116	2003	庄司恵雄 青山眞子 金沢眞智子	大規模口頭能力試験開発に関する基礎的研究ー発話標本採取法の検討ー	①

			伊藤裕郎 野口裕之		
36	117	2003	村上隆	テストはなぜ完全なものになり得ないのか	②
37	125	2005	川村千絵	作文クラスにおけるポートフォリオ評価の実践－学習者自己評価に関するケーススタディー	①
38	135	2007	野口裕之 熊谷龍一 大熊敦子	日本語能力試験における級間共通尺度の試み	②
39	136	2008	春原憲一郎	技術研修生のための日本語研修における評価の観点－「技術研修生」が突きつける評価の課題群－	①
40	136	2008	上農正剛	聴覚障害児の言語獲得と日本語能力評価をめぐる諸問題	③
41	136	2008	トムソン木 下千尋	海外の日本語教育における評価－自己評価の活用と学習者主導型評価の提案－	①
42	136	2008	山本弘子	日本語学校から見た評価の観点の見直し－ヨーロッパ共通参照枠の視点から－	② ③
43	136	2008	根岸雅史	英語教育における最近の評価の動向	② ③
44	136	2008	廣瀬香恵	日本留学試験「記述問題」におけるトピックの影響	③
45	138	2008	青木直子	日本語を学ぶ人たちのオートノミーを守るために	①
46	141	2009	松見法男 福田倫子 古本裕美 邱愈媛	日本語学習者用リスニングスパンテストの開発－台湾人日本語学習者を対象とした信頼性と妥当性の検討－	①
47	141	2009	島田めぐみ 野口裕之 谷部弘子 斎藤純男	Can-do statements を利用した教育機関相互の日本語科目の対応づけ	②
48	142	2009	市嶋典子	相互自己評価活動に対する学習者の認識と学びのプロセス	①
49	144	2010	藤森弘子	高度専門職業人養成課程における日本人学生と留学生の協働作業及びピア評価の試み	①

(31 の分類は③から①に修正した)

3

文献

山本弘子 (2008) 日本語学校から見た評価の観点の見直し－ヨーロッパ共通参照枠の**支店視点**から－『日本語教育』136, 38－48

以上